

アスパラガス(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	疫病	べと病	茎枯病	褐斑病	斑点病	株腐病	立枯病	苗立枯病	軟腐病
I Cボルドー66DFL	M1		-	-			◎						
Zボルドー水	M1		-	-			◎		◎				
クブシールドFL	M1		-	-			◎		◎				
コサイド3000DF	M1		-	-			◎	◎	◎				
ドイツボルドーA水	M1		*a	-			◎						
スターナ水	31		1	2									◎
トップジンM水	1		*g	5			◎				◎		
ベンレート水	1		1	4			◎			◎			
アフェットFL	7		1	4			◎	◎	◎				
パレード20FL	7		1	3			◎						
アミスター20FL	11		1	4			◎	◎	◎				
ストロビーFL	11		1	3					◎				
ファンタジスタ顆水	11		1	3			◎	◎	◎				
メジャーFL	11		1	3			◎		◎				
フロンサイドSC	29		*e	5			露		露				
ロブラール水	2		1	5			◎	◎	◎				
リゾレックス水	14		*c	3			◎					◎	
			*f										
スコア顆水	3		1	2					◎				
トリフミン水	3		7	1							◎		
ラリー水	3		1	2			◎	◎	◎				
キノドールFL	M1		3	5		◎	◎						
ジマンダイセン水	M3		*e	6			露	露	露				
ペンコゼブ水	M3		*e	6			露	露	露				
ダコニール1000FL	M5		1	4	◎		◎	◎	◎				
ベフラン液25	M7	劇	*d	5			◎						
バルコート水	M7		7	5			◎	◎	◎				
ユニフォーム粒	4・11		1	3	◎								
フォリオゴールドFL	4・M5		1	3	◎								
ダコレート水	1・M5		*b	4			◎		◎				
シグナムWDG	7・11		1	2			◎	◎	◎				
ベジセイバーFL	7・M5		1	4			◎	◎	◎				
プロポーズ顆水	40・M5		1	3	◎								
シトラノールFL	M1・M5		*h	4			◎	◎	◎				

*a:収穫後 *b:収穫終了後 *c:収穫後～茎葉刈り取り期まで(但し収穫14日前まで)

*d:収穫終了後(冬期まで) *e:収穫終了後(但し秋期まで)

*f:株養成期(播種又は定植時から茎葉刈り取り期まで)(但し収穫14日前まで)

*g:収穫開始7日前まで *h:収穫開始3日前まで

露:露地栽培

アスパラガス(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	アブラムシ類	コナジラミ類	カメムシ類	アザミウマ類	オオタバコガ	ヨトウム	ハスモンヨトウ	ネキリムシ類	ジュウシホシクビナガハムシ類	ハマダニ類	ナメクジ類
スピノエース顆水	5		1	2				◎							
コロマイト乳	6		1	2										◎	
アディオンFL	3A		1	3						◎	◎				
アディオン乳	3A		1	3	◎		◎			◎			◎		
アーデント水	3A		1	2	◎		◎		◎					◎	
ガードベイトA粒	3A		1	3								◎			
スカウトFL	3A	劇	1	3						◎					
アクタラ顆溶	4A		1	3				ギ							
アドマイヤー顆水	4A	劇	1	2				◎							
アドマイヤーFL	4A	劇	1	2				◎							
アルバリン顆溶	4A		1	3		◎	◎	◎					◎		
ダントツ溶	4A		1	3	◎		◎	ギ					◎		
モスピラン顆溶	4A	劇	1	2	◎	◎	◎	◎					◎		
ディアナSC	5		1	2		◎		◎	◎		◎		◎		
アニキ乳	6		1	3		◎					◎				
アフーム乳	6		1	2					◎	◎	◎				
コルト顆水	9B		1	3		◎	カ	ギ							
コテツFL	13	劇	1	2					◎	◎	◎		◎	◎	
リーフガード顆水	14	劇	1	2		タ		◎							◎
カウンター乳	15		1	2					◎		◎				
カスケード乳	15		1	2				◎	◎		◎				
ノーモルト乳	15		1	2							◎				
マイトコーネFL	20D		1	1										◎	
ハチハチFL	21A	劇	1	2	◎	◎	ア	ギ					◎		
アクセルFL	22B		1	3							◎				
アクセルベイト粒	22B		1	3							◎				
モベントFL	23		1	3		◎		◎						◎	
ダニサラバFL	25A		1	2										◎	
ダニコングFL	25B		1	2										◎	
フェニックス顆水	28		1	2					◎	◎	◎				
プレバソソFL5	28		1	3							◎				
ベネビアOD	28		1	3				◎			◎				
ウララDF	29		1	3	◎			ギ							
グレーシア乳	30		1	2							◎		◎	◎	
アベンジャーFL	34	劇	1	2		シ		◎							
ファインセーブFL	34	劇	1	2		シ		◎							
プレオFL	UN		1	2				ギ	◎	◎	◎				
ナメトックス粒	-		1	2											◎
ナメナイト	-		1	2											◎

ア:ツマグロアオカスミカメ カ:カスミカメムシ類 ギ:ネギアザミウマ
 タ:タバココナジラミ シ:タバココナジラミ類(シルバーリーフコナジラミを含む)

ア
ス
パ
ラ
ガ
ス

アスパラガス(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
茎枯病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 畑の排水をよくする。 過繁茂を避け、通風をよくする。 雨よけ栽培をする。 発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ジマンダイセン水和剤# 400～600倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 ベルクート水和剤 1000倍 ベンレート水和剤 2000倍 Zボルドー(水) 500倍 	梅雨期と秋雨期に発生が多い。多発してからでは防除は手遅れとなるので、初期の防除を徹底する。 # 露地栽培で収穫終了後(但し秋期まで)の使用に限る。
斑点病	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 畑の排水をよくする。 過繁茂を避け、通風をよくする。 雨よけ栽培をする。 発生初期から次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル 2000倍 ジマンダイセン水和剤# 500倍 ダコニール1000 (FL) 1000倍 ベルクート水和剤 1000倍 Zボルドー(水) 500倍 	# 露地栽培で収穫終了後(但し秋期まで)の使用に限る。
アブラムシ類	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.8mm以下の防虫ネットを張る。 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 2000倍 ウララDF 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍 	
コナジラミ類	生育期	<ol style="list-style-type: none"> 施設では近紫外線除去フィルムを展張し、開口部には目合い0.8mm以下の防虫ネットを張る。 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 コルト顆粒水和剤 4000倍 モスピラン顆粒水溶剤 4000倍 	
オオタバコガ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アファーム乳剤 2000倍 コテツフロアブル 2000倍 フェニックス顆粒水和剤 2000～4000倍 	
ジュウシホシクビナガハムシ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍 アルバリン顆粒水溶剤 2000倍 スタークル顆粒水溶剤 2000倍 	